# 令和５年度　地域情報化アドバイザープロフィール

| | | |
|---|---|---|
| ふりがな | はら　ひでき | |
| 氏名 | 原　秀樹 | |
| 所属・役職 | 元姫路市職員（政策局デジタル情報室　デジタル戦略・マイナンバー制度・スマートシティ担当主幹） | |
| 活動拠点 | 全国 | |
| 略歴 | 1987 年 姫路市入庁,企画局情報管理課（メインフレーム運用管理、システム開発）<br>1995 年 民生局福祉部福祉課（福祉医療担当）<br>1999 年 健康福祉局福祉部（福祉総合システム開発）<br>2001 年 企画局企画調整部情報政策課（福祉総合システム開発）<br>2003 年 都市局計画部都市計画課（局庶務、地域公共交通維持確保対策事業）<br>2007 年 企画財政局政策経営部新総合計画推進課（総合計画策定）<br>2009 年 教育委員会事務局学校教育部教育研究所・係長（総合教育センター開設準備）<br>2010 年 教育委員会事務局学校教育部総合教育センター教育支援課・係長（教育情報化）<br>2014 年 総務局総務部情報政策課・係長（マイナンバー制度導入、情報システム最適化）<br>2016 年 総務局情報政策室・課長補佐（情報化計画、地域情報化、情報セキュリティ、マイナンバーカード多目的利用、庁内データ分析基盤、働き方改革等）<br>2019 年 総務局情報政策室・主幹（情報政策、統計、住民情報システム担当）<br>2020 年 総務局情報政策室・主幹（情報政策担当、マイナンバー推進室、住民情報システム担当）<br>2021 年 政策局企画政策室・主幹兼デジタル室長<br>2022 年 政策局デジタル情報室・主幹（計画・マイナンバー制度・ＤＸ担当）<br>2023 年 政策局デジタル情報室・主幹（デジタル戦略・マイナンバー制度・スマートシティ担当<br>2023 年 6 月 30 日退職 | |
| 地域情報化の専門分野・技術 | ・ＥＢＰＭ、データ分析基盤、業務データの利活用と個人情報保護<br>・マイナンバー制度、マイナンバーカードの多目的利用の推進<br>・官民データ活用推進計画、デジタル戦略<br>・デジタル人材育成・確保<br>・情報セキュリティ<br>・情報部門の業務継続計画（ICT-BCP）<br>・情報システムの最適化<br>・自治体情報システム（データ連携基盤等共通基盤含む）<br>・ＡＩ、ＲＰＡ、働き方改革<br>・教育の情報化 | |

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>・スマートシティ事業構想企画等<br>・庁内ＤＸ推進体制</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門分野</td><td>オープンデータ ＥＢＰＭ（エビデンスに基づく政策立案） ＡＩ活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（ＤＸ推進のための機運の醸成） 人材（ＤＸに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバイド対策 マイナンバー マイキープラットフォーム 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 働き方 テレワーク ＲＰＡ導入 医療・介護・健康 個人情報保護 スマートシティ ICT 活用広報 その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">自治体向けメッセージ</td><td>情報部門での職務を通じてデジタル施策推進に幅広く取り組んできました。加えて、福祉窓口や市総合計画策定、教育の情報化に取り組んだ経験も活かして、市民のＱＯＬ向上に向けた自治体デジタル政策を考えるご協力ができると思います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">関連サイト</td><td></td></tr>
<tr><td>地域情報化に関する実績</td><td>これまでの経験業務・研究活動</td><td>ホスト住民情報系システムの待機系システム開発、資産管理システム開発<br>福祉総合システム（C/S 型）の構想～企画立案～設計・開発<br>マイナンバー制度導入推進本部事務局、広報啓発、システム改修整備（H25～）<br>マイナンバーカード多目的利用の推進（H28～）<br>・利用者証明用電子証明書を利用した図書館図書貸出サービス導入（全国初）<br>・播磨圏域連携中枢都市圏の図書館相互利用におけるマイナンバーカード共通利用の推進（H31.3 末現在:３市２町対応） ※H30「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰<br>・券面事項入力補助 AP を利用した申請書自動作成サービス導入<br>・（H29 総務省実証）マイナンバーカードによる高齢者バス優待乗車<br>・自治体マイナポイント事業の実施（R3～）<br>情報システム最適化計画の推進（H26～）<br>・基幹系仮想化統合基盤の構築、庁内データ連携基盤・統合データベースの構築<br>ＩＣＴ部門の業務継続計画の策定（H29）<br>姫路市情報セキュリティポリシーの改定（H30）<br>行政情報分析基盤（データ分析基盤）の企画立案～構築・活用（H28～）<br>・（H29 総務省実証）「地域におけるビッグデータ利活用の推進に関する実証」<br>・（R 元総務省実証）「革新的ビッグデータ処理技術導入推進事業（AI 導入標準化）」<br>※R 元「第 4 回地方公共団体における統計データ利活用表彰」特別賞<br>ＡＩチャットボット（H30～）、音声認識ＡＩ・文字認識ＡＩ、ＲＰＡ導入（R 元～）<br>市官民データ活用推進計画の策定（R2）、改定（R5）<br>市デジタル戦略の策定（R3）<br>教育の情報化の推進（校務支援システム、ICT 環境整備事業の企画立案～導入）<br>姫路市版スマートシティ事業の企画・立案（デジ田 Type3 採択）<br><br>寄稿<br>・月間 J-LIS（地方公共団体情報システム機構、株式会社ぎょうせい）<br>・住民行政の窓（日本加除出版株式会社） など<br>委員等<br>・(公財)日本都市センター「デジタル社会における都市経営と都市政策に関する研究会（R4～5）」委員<br>・H30 総務省「課題解決型自治体データ庁内活用支援事業」自治体データ庁内活用相談会委員<br>・R2 総務省「自治体ＡＩ共同開発推進事業」ＡＩクラウド検討会構成員</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | | ・R3 文部科学省事業「就学事務システム（学齢簿編成等）の標準化を推進するための調査研究」有識者会議構成員<br>・R3 文部科学省事業「マイナンバー制度活用方策も含めた教育情報システムの在り方に関する調査研究」事業推進委員会委員<br>・R4 文部科学省事業「教育データ標準に関する連絡協議会」委員<br>・R4 文部科学省事業「 教育データの効果的な活用を見据えた教育情報システムの在り方に関する調査研究 」事業推進委員会 |
| | これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト | 講演等<br>・教育の情報化施策に関する講演（民間主催）<br>・マイナンバー制度に関する講演（民間主催）<br>・デジタルガバメント推進に関する講演（民間主催）<br>・自治体データ利活用に関するフォーラム・パネルディスカッション（民間主催）<br>・近畿総合通信局「地域 IoT 実装推進セミナーin 姫路」講演・パネルディスカッション<br>・関東総合通信局「地域情報化広域セミナー2020in 関東」ディスカッション<br>自治体職員向け研修、講演<br>・総務省統計研究研修所「政策立案と統計」<br>・自治大学校「ＩＣＴ人材育成特別研修」<br>・兵庫県（マイナンバーカード利活用）<br>・J-LIS 研修（特定個人情報保護評価、マイナンバーカード利活用）<br>・群馬県、つくば市、東久留米市、舞鶴市、金沢市、能勢地区市長・町長連絡会議など |